

一般質問

～12人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 埴田 裕之 議員

- 市民のための渋川市行政へ
 - 1 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
 - 2 渋Pay
 - 3 幹部職員業務
 - 4 JR渋川駅周辺整備事業
 - 5 環境問題

P 7 福島 丘泰 議員

- 笑顔あふれる渋川のために
 - 1 古巻公民館整備事業
 - 2 JR八木原駅周辺整備事業
 - 3 自治会の課題
 - 4 新産業ゾーン

P 8 須田 勝 議員

- 元気が出る街づくり
 - 1 敷島駅100周年に向けて
 - 2 育都のまちに向かって

P 9 角田 喜和 議員

- 渋川市のデジタル行政について
- ユートピア赤城の再開はどこまで
- 平和の問題について

P 10 後藤 弘一 議員

- 市民生活の安全
 - 1 特殊詐欺被害について
 - 2 インターネットの誹謗中傷について
 - 3 ハラスメントについて

P 11 田村 なつ江 議員

- 市民が安全で安心して暮らせるまちづくり
 - 1 保育所等の課題
 - 2 地域の環境問題
 - 3 地域の防災対策
 - 4 生活道路の整備

P 6 茂木 弘伸 議員

- SDGsの視点から考えるまちづくり
 - 1 ごみ減量化の取組について
 - 2 食品ロスの取組について
 - 3 ヤングケアラー対策について

P 7 山内 崇仁 議員

- 防災対策
- 公園管理

P 8 加藤 幸子 議員

- 育都における子育て支援について
- 市内の河川管理について
- 市行政における自治会への委託内容は

P 9 田中 猛夫 議員

- 市政運営について
 - 1 農業振興対策
 - 2 個人情報保護
 - 3 予算（物価高騰対策及びIH調理器購入費等助成について）

P 10 高澤 幹 議員

- 共生社会実現のまち 渋川市
 - 1 公共施設における「赤ちゃんの駅」の現状
 - 2 様々な個性に配慮したトイレについて
 - 3 子どもがどこでも学べるための移動手段

P 11 中澤 功史 議員

- 渋川の「あるもの」を活用しよう
 - 1 関係資産の活用について
 - 2 通学方法の活用について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



埴田 裕之

市民のための渋川市行政へ

スクールガードリーダー

質問 登下校の見守りにおいて、

公募をせず、設置要領にない教員
OB市議1名のみを時給1200
円で令和2年から継続し採用して
いる。教員OBを採用した理由は、

教育部長 学校の実情をよく知り、
学校現場で安全指導や生徒指導の
経験が豊富であったからです。

JR渋川駅周辺整備事業

質問 整備された渋川駅の乗降場

は危険であり大変不便だが、改修
工事を含め事業を見直す考えは。

市長 これまで関係機関と数年協
議を重ね最善の計画として実施し
ており、見直す予定はありません。

質問 渋川駅前には屋根が必要だが、
ガラス製にしたことで工事予定額

が約6億円となり非常識と考える。
さらに整備後も維持費が生じる。
発生する屋根清掃の費用と回数は、

建設交通部長 今のところ概算の
見積もりで1回約80万円、また回
数は年1回程度と見込んでいます。

渋Payカード配布事業

質問 事業自体は評価している。



全市民への渋Pay3000ポイント
配布事業はやるべき!

3月議会での否決後、よりよい案
を示し、再提案を求めたが、市長
は再提案しなかった。議会の提案
を事業に反映する考えはあるか。

市長 市民にいち早く支援の手を
差し伸べるのが私の思いです。

**市民のためになることは議会と連
携していきます。**

固定資産関連の個人情報の流出

質問 市民の個人情報が出たと報
道されたが、市として調査しない
のか。調査したが事実がないのか。

市長 確認をしましたが、そうい
った事実は確認できませんでした。



茂木 弘伸

SDGsの視点から

考えるまちづくり

ごみの減量化の取り組みについて

質問 ごみを多く出すと広域組合

の負担金増加になる。「生ごみは
入っていません袋」の効果は。

市民環境部長 堆肥化等により、
昨年度減量できた可燃ごみは、2
万9256kgと推計しています。

質問 雑がみの回収状況は。また、
プラスチックごみの分別収集の開
始時期は。指定袋は作製するの

市民環境部長 昨年度の雑がみ回
収量は9160kgでした。プラス
チックのリサイクル処理は令和6
年4月の開始で、これに伴い指定
袋で収集することとなっています。

食品ロス削減の取り組みについて

質問 事業の取り組み状況は。

市民環境部長 対策協議会の開催、
フードラブ協力店制度やフードド
ライブの実施、食品ロス対策自販
機の設置等に取り組んでいます。

質問 食品ロス対策自販機の設置
状況と設置箇所を拡大する考えは。

市民環境部長 市有4施設に設置
しましたが、事業者は廃棄商品の
縮減に努めており、対象商品は多

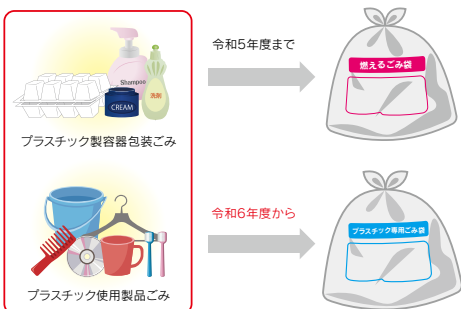
くないようです。協議を続けます。
ヤングケアラー対策について

質問 現状調査の実施状況は。

育都推進部長 昨年度、市内中学
生を対象に、本人が困っている状
況の把握に重点を置いたアンケー
ト調査を実施しました。

質問 高崎市で行っている「ヤン
グケアラーSOS事業」のような
ヘルパー派遣等を実施する考えは。

育都推進部長 状況に応じたさま
ざまな支援につなげられるよう、
既存の支援サービスの利用も視野
に入れ、きめ細かく対応します。



令和6年度からプラスチックごみの
分別収集が始まります

一般質問



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために

古巻公民館整備事業

質問 土壌汚染対策法に基づく調査の現状と、公民館建設の今後のスケジュールは。

教育部長 地歴調査を終え、表層調査に移ります。調査結果により、今年度に予算が確保できれば、令和7年度に事業完了と考えます。

質問 防災拠点でもある新古巻公民館の災害対策設備は。

教育部長 主なものとして、太陽光発電設備・蓄電設備や、電気自動車用の充放電設備等の設置を計画しています。

JR八木原駅周辺整備事業

質問 利便性の向上と児童の安全な通学路確保が目的の本事業、改めて事業の概要とスケジュールは。

建設交通部長 本事業は、駅東西を結ぶ自由通路、駅前広場などの整備を行うものです。JR東日本と協議し、早期完了を目指します。

自治会の課題

質問 自治会役員はさまざまな負担が多く、なり手がいないとの声を聞くが、自治会の負担軽減につ



古巻公民館の土壌汚染調査始まる

いて、市はどう考えているのか。

総合戦略部長 社会情勢の変化もあり、自治会の負担軽減に取り組む必要があります。全庁をあげて見直しに取り組んでいきます。

新産業ゾーン

質問 新たな工業団地造成は、市に活力を生む施策につながる。立地条件の良い半田工業団地を戦略的優先候補地と考えるが。

産業観光部長 半田地区も好立地と考えますが、造成費用や農林調整などの課題がクリアできた場所を候補地に選定したいと考えます。



山内 崇仁

市民の安心安全のために

防災対策について

質問 職員に防災士の資格を取得させ、各職場に配置してはどうか。

情報防災部長 防災対策を行う上で、防災に対する意識などを有する人材が多くなることは望ましいことです。研修等を行い、職員全体の底上げを行います。

質問 指定緊急避難所に自治会館等が指定されているが、土石流等に対応していない施設がある。地域に別の避難所が必要ではないか。

情報防災部長 地域の指定避難所が対応していない種類の災害発生時の避難場所等について、避難タイムラインの作成会議時に、その情報を共有し、助言しています。

質問 災害時に避難所として利用する学校体育館にエアコンを設置する必要があると考えるが。

情報防災部長 学校体育館へのエアコン設置が整っていませんので、学校に協力していただき、一時的にはエアコンを設置してある教室を借りることも想定しております。

公園管理について

質問 沼尾川親水公園の遊具が撤去されるが、撤去後の整備をどのように考えているのか。

建設交通部長 具体的な予定はありませんが、今後、段階的に対応したいと考えています。まずは利用者ニーズの把握に努めます。

質問 公園管理を福祉施設等に委託できないか。

建設交通部長 障がい者施設等への作業依頼の調査を行い、指定管理者と協議します。また、担い手不足の解消について研究します。



改修が待たれる沼尾川親水公園



須田 勝

元気が出る街づくり

敷島駅100周年に向けて

質問 市主催で開業100周年イベントや記念式典実施の考えは。

総合戦略部長 100周年を契機に、鉄道の利用促進や地域活性化に向けた取り組みを、JRや地元などの関係者と調整していきます。

質問 群馬銀行敷島支店の建物の活用に關して、地元の経済団体や住民との協議・相談の進捗は。

産業観光部長 地元からの要望等を踏まえ、敷島駅周辺の創業支援制度を拡充してきましたが、具体的な成果に結びついていません。

質問 駅前の空き地を地権者や商工会と協議し、開発構想を取りまとめていくことの進捗は。

産業観光部長 具体的な開発構想などの政策立案には至っていませんが、引き続き店舗等誘致に向けた調査研究を進めていきます。

育都のまちに向かつて

質問 今年度から始まった育都推進プロジェクトの目的と内容は。

総合戦略部長 将来を担う子どもを夢と希望を持って地域全体で大



2024年に100周年を迎えるJR敷島駅

切に育て、渋川市に暮らすすべての人の幸せをはぐくむものです。

質問 全国的に出生数が減少する中、子どもを増やす政策の考えは。

育都推進部長 国の総合的な政策を注視するとともに、子育てによる喜びが増すよう多様なニーズに対応した支援を継続していきます。

質問 結婚問題をどう考えるか。市が婚活事業を行う考えはあるか。

育都推進部長 市では、婚活を推進するため、実施する団体に補助金を交付していることから、婚活事業を実施する考えはありません。



加藤 幸子

育都における

子育て支援について

質問 保育士の配置基準は、70年も改善がされていない。国の配置基準の見直しは。また、市単独での保育士の増員を。

育都推進部長 国では、保育士1人に対し、1歳児は6人から5人へ、4・5歳児は30人から25人へ、基準の見直しを進めます。市では、国の基準に従い、併せて、保育士の人材確保に努めます。

質問 国は小中学校体育館の冷暖房設置補助率を令和3年度から3年間2分の1に引き上げた。この機に冷暖房の設置、熱中症対策を。

教育部長 国の方針では、冷暖房設備設置は、屋内運動場にも断熱性確保等技術的な課題を踏まえた上で進めていくことが必要としており、市も検討していきます。

一級河川管理は群馬県の責任

質問 自治会が奉仕作業で一級河川の除草作業をしている。管理者である県の責任で実施すべき。

建設交通部長 地域の皆さまには、ご協力をいただいています。一級河川管理は県です。市民から通



自治会の高齢化で除草作業ができない河川

報等がありましたら、速やかに県へ情報提供させていただきます。

市依頼の募金について

質問 ある自治会が、市から依頼された日本赤十字社等の募金を集めたが、市に納めず違う用途に使用。今後、同じ不詳事が起きないよう、市長はどう対策を取るのか。

市長 自治会長が募金の目的で自治会員から集めたお金を、団体に納めないという行為は健全な自治会運営を根底から揺るがす誠に不適切な行為だと思えます。市としても適切な指導を行っていきます。

一般質問



角田 喜和

マイナンバーカードは任意、紙ベースの保険証は残すべき

質問 全国ではマイナンバーカードに誤って他人の情報が登録されていた問題が発生している。本市でも発生しており、問題のあるマイナンバーカードは中止すべきと考えるが。

情報防災部長 本市でマイナンバーカード誤登録の疑いが発生してしましておわびします。今回の原因は人的ミスと考えられ、マイナンバー制度及びカードの欠陥が原因ではないため、国に対して活用中止を要請することは考えていません。

質問 任意であるはずのマイナンバーカードに健康保険証がひも付けされようとしている。紙ベースの保険証は残すべきではないか。

情報防災部長 令和6年秋に予定されているマイナンバーカードと保険証の一体化は、一定の経過措置を設けるとされていますが、正確な情報がないため、国の動向を注視しつつ情報収集に努めます。

温泉再開は来年10月

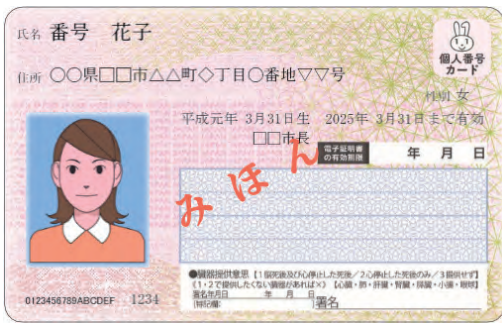
質問 休館中のユートピア赤城の再開時期と、再開に向けた準備は

どこまで進んでいるのか。

産業観光部長 譲渡先法人から工程表が示され、設備工事のほか、大広間改修やフィットネス設備の整備を行い、令和6年10月にリニューアルオープン予定です。

質問 利用者は一刻も早い再開を望んでいるが、改修計画は本当に実行できるのか。

産業観光部長 譲渡先法人代表者から説明及び文書による回答があり、法人のホームページにも再開時期が示されていることから、計画どおり実施されると考えます。



問題が発生しているマイナンバーカード



田中 猛夫

農業者支援と個人情報の漏えい

生産資材高騰への支援

質問 農業は生産資材等の高騰により大変厳しい経営が続いている。市長は、交付金の中で支援策を検討すると答弁していたが、どのような支援対策をいつ実施するのか。

産業観光部長 肥料購入費補助等を行っている国や県の事業効果を見極めつつ、JA等の関係機関や農業者から意見を伺いながら支援を検討していきます。

質問 生産コストの6割を占める飼料の高騰により、昨年、県内47戸の酪農業が廃業した。県内他市では、飼料高騰の影響を受ける畜産農家を支援するため、6月市議会に補正予算を提出している。市は、畜産農家への支援を実施する考えはあるか。

産業観光部長 国や県による飼料価格高騰対策事業等の効果を見極めつつ、関係者から意見を伺いながら支援を検討していきます。

質問 主要生産地であった市の小菊生産は、品種の市場性の問題で販売額が伸びない。生産者は、生

産振興対策として、市へ優良品種導入等への支援を求めているが。

産業観光部長 花き組合やJA等の意見を聞き、有効となる支援策について検討していきます。

個人情報の保護

質問 市職員が個人情報保護法等の違反で告訴されたとの報道があった。市長は、事実確認や防止対策等の説明を行う考えはあるか。

市長 内容が事実であるかも把握しておらず、仮にそのような報道があったとすれば報道機関の対応としていかなるものかと思えます。



高騰を続ける農業用資材

一般質問



後藤 弘一

市民生活の安全

特殊詐欺被害

質問 渋川市犯罪被害者等支援条例の趣旨と内容は。

情報防災部長 被害の早期回復や軽減、権利利益の保護など、犯罪被害者等の支援に関する市の基本的施策や市の責務を定めています。

質問 特殊詐欺被害の現状は。

情報防災部長 令和4年の市内の認知件数は14件、被害額は1億1028万円です。令和元年以降、被害額が増加しています。

ハラスメント

質問 ハラスメントの定義とは。

総務部長 ハラスメントとは、他人に対する発言や行動などにより、相手を不快にさせること、尊厳を傷つけること、不利益や脅威を与えることなどをいいます。

質問 議員から市職員へのハラスメントの実態調査を行う考えはあるか。

市長 議員からのハラスメントについては、職員が威圧感やストレスを感じ、業務に支障を来すなどの報告を受けていることから、早

急に調査を行い、対策を講じます。

インターネットの誹謗中傷

質問 渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例制定後の実績は。

情報防災部長 条例に基づく支援事業の実績は、職員対応の相談が10件、弁護士無料相談が4件、弁護士費用の助成はありません。

質問 人権侵害行為の対応は。

情報防災部長 誹謗中傷等による人権侵害に対し、市の責務として、相談支援や弁護士費用の助成を実施し、被害者等を支援しています。



誹謗中傷の防止と被害者支援



高澤 幹

共生社会実現のまち渋川市

公共施設における「赤ちゃんの駅」

質問 市内の公共施設数、そのうち「赤ちゃんの駅」登録数は。

育都推進部長 誰もが気軽に利用できる建物施設は約170施設であり、そのうちの46施設を「赤ちゃんの駅」として登録しています。

質問 男女別トイレへのおむつ交換台の設置状況や、授乳設備についての詳細情報の提供は可能か。

育都推進部長 各登録施設のサービス提供内容や設備状況等を確認の上、利用者側の視点に立った丁寧な情報提供に努めます。

さまざまな個性に配慮したトイレ

質問 色覚障がい者や視覚障がい者に対応すべく、トイレの場所、使用可否の表記等の工夫は。

情報防災部長 共生社会実現のため、*カラーユニバーサルデザインを取り入れた表示と色以外で使用情况が分かる表示を検討します。

質問 ジェンダーアイデンティティへの対応や、多機能・多目的トイレ普及に向けた市の考え方は。

情報防災部長 *トランスジェンダ

ーの方へのトイレ利用の配慮は十分ではないため、他自治体の動向を注視しつつ方策を検討します。

子どもがどこでも学べるための移動手段

質問 保護者の送迎無くしては、公民館や赤城町にある「だれでも広場」へ行けない子どもが多いが、その対応についての考えは。

福祉部長 外出支援を目的に社会福祉協議会が運行する無料バス「福祉のあし」がだれでも広場を経由しますので移動手段の一つとしてご活用ください。



赤ちゃんの駅が目印となるステッカー

一般質問



田村なつ江

市民が安全で安心して暮らせるまちづくり

保育所等のきょうだいで入所の課題

質問 きょうだいで入所ができない場合があるようだがなぜか。受け入れるべきと考えるが。

育都推進部長 保育の必要度が高い児童が多い場合、入所できないことはありますが、同じ施設に入所できる仕組みを検討します。

地域の環境問題(カワウの被害)

質問 被害に悩まされている地域住民へどのように寄り添おうと考えているのか。

市民環境部長 土地の管理者や県の関係機関と科学的知見に基づく対策を検討するとともに、地域の声に耳を傾け、丁寧に進めます。

自主防災リーダーの活躍について

質問 自主防災リーダー等が活動するための費用・経費はどこから支出すべきなのか。

情報防災部長 上限がありますが、活動に掛かった費用に対して「自主防災組織等活動支援補助金」で補助を行っています。

質問 市が認定した自主防災リーダー等の方々のスキルアップをど

のように考えているのか。

情報防災部長 有事の際に役立つには、研修や訓練を重ねる必要があります。自主防災リーダー会に相談し、研修等を行います。

生活道路の整備

質問 北橋町の「小室地区道路改良事業」は緊急車両の出入りも難しく優先的に進める事業であると思うが、市長の見解は。

市長 限られた財源の中で、それぞれの地域の状況を見極めながら、市全体の中で優先順位をつけて、道路の整備を進めていきます。



真壁調整池のカワウのコロニー



中澤 功史

渋川の「あるもの」を活用しよう

関係資産の活用について

質問 連携協定の今後の活用に向けての取り組み・施策について、渋川の「資源」と関連させて説明を求めます。

総合戦略部長 大学や民間企業など協定先が持つノウハウやネットワークを活用し、新たなビジネスモデルの構築を進めていきます。

質問 新事業である「しぶかわ推し」により、掘り起こしてほしい渋川の新たな「資源」について、市はどのように考えているのか。

総合戦略部長 市の有するさまざまな資源を新たな視点で掘り起こし、市のイメージアップ、ブランド力の向上につなげていきます。

通学方法の活用について

質問 現在の通学バスルート・時刻表と、利用者である保護者・児童生徒の要望との間にギャップがあると思われる。このギャップを埋める行動について、市はどのように考えているのか。

教育部長 バス運行について大幅な変更をする場合、保護者に事前

説明を行い、ご理解をいただいた上で進めていきたいと考えます。

質問 部活動地域移行においても、親の送迎が必須か心配する保護者の声を聞く。普段の通学や学校再編でも、自転車、路線バス、通学バスといった通学方法の柔軟な対応により問題解決が可能となると考えるが、市はどう考えているか。

教育長 地域事情や保護者要望も踏まえながら一定の平等性を保ち、市の交通政策とともに安全を確保した上で、合理的な選択ができるよう検討を進めていきます。



市の花あじさいも大切な観光資源